

第1回 新庄新高校（仮称）・新庄神室産業高校 教育基本計画策定委員会
記録（概要）

資料1

- 1 日時 令和3年5月31日（月）10:30～12:00
- 2 会場 県庁1002会議室
- 3 参加者 委員長（座長）、委員10名、事務局5名
- 4 内容

- 1 委嘱状の交付
- 2 県教育委員会あいさつ
- 3 委員の紹介
- 4 報告
 - (1) 最上地区の県立高校再編整備計画（第2次計画）について
- 5 協議
 - (1) 教育基本計画策定委員会の検討組織（案）
 - (2) 教育基本計画策定委員会の検討内容（案）
 - (3) 教育基本計画策定委員会の検討計画（案）
- 6 意見交換
- 7 連絡
 - (1) 次回の開催について
 - (2) その他

5 発言要旨

- 4 報告 事務局長より説明
 - (1) 最上地区の県立高校再編整備計画（第2次計画）について
質問等なし。

- 5 協議 事務局長より提案
 - (1) 教育基本計画策定委員会の検討組織（案）
質問意見等なし。原案の通り承認された。
 - (2) 教育基本計画策定委員会の検討内容（案）
質問意見等なし。原案の通り承認された。
 - (3) 教育基本計画策定委員会の検討計画（案）
質問意見等なし。原案の通り承認された。

6 意見交換

（委員）

新庄新高校（仮称）では、生徒の多様な進路希望の達成のために、生徒の学力に応じた探究コース以外のコースの設置やクラス分けなどの配慮が必要だ。

新庄神室産業高校では、地域産業を先導している方々を授業の講師として招くような仕組みづくりができないか。直接、教壇に立つことで、子どもたちに刺激を与える

とともに、地元企業を知る機会にもなる。また、新庄市には全国から注目されている企業もあるが、社員募集をしても応募がないという声や、建築会社の社長からは土木関係の科がなくなったこともあり、社員募集にも苦慮しているといった声も聞く。もっと現場の声に耳を傾けながら、地域の事情を考え、課題を解決することが可能となるカリキュラムづくりが必要ではないか。

(委員)

以前より新庄市では、地元企業の周知を図るために、中学生に対しては企業の方々が中学校に出向き説明し、高校生に対してはバスツアーの形で企業見学を実施するとともに、高校の先生方が地元の企業の理解を深めるため、手分けして企業を回り、社長からの話を伺うなどしていた。今後も、先生は企業を知り、企業の物語を地域のひとつの物語として、子どもたちに教えてほしい。

同じ目的を持つ仲間と過ごす高校3年間は、心のふるさとづくりになっていくと考えており、人口減少によって労働力が減少する中で、地元教育を大切に、郷土で活躍する若者が増えることを期待する。

また、定時制について「現在の新庄南高校の校舎を必要な改修を施した上で、令和9年度から全日制と校舎を共用しない独立校舎として使用する。」としており、今後の定時制における独立校舎の在り方について関心を持っている。

(委員)

中学校と高校の連携事業を十数年行っている。その中で地元の高校に送り出した生徒の状況や定員割れとなる高校の対応として、高校の魅力の発信が必要であると中学校の校長先生たちと話をしているところだ。11月に小学校、中学校、高校の校長先生が一堂に会し研修を行うがその際、新庄神室産業高校の校長先生から学校の様子について説明してもらう予定である。小学校教員も含め大人が地元の高校を知ること、何ができるのかを検討していきたい。新幹線やスクールバス等で山形や庄内に通えてしまうため、高校段階で地元から離れる生徒もいる。中学生に、高校生の活躍する姿を見せる機会をつくとともに、学校で学ぶ内容を高校生自身から直接中学生に語る場の設定が必要だ。新庄北高校であれば探究学習の様子、新庄南高校であれば総合ビジネス科の商業活動の様子、新庄神室産業高校であれば小学生の田植えに参加して指導してもらうなど、活動する高校生の姿を見せてほしい。最上地区のニーズに応えた魅力ある高校再編整備とするためにも、各高校から魅力や学ぶ内容を発信してもらい、中学生自らが新庄市の高校を選択するような手助けをしていきたい。

(委員)

自分の学校のことを中学校や生徒・保護者に、いかに情報発信できるかということが重要だと感じているが、なかなか伝えきれていないのが現状である。学校全体として中学校と連携を深めることが、高校の魅力を地域に発信することになる。また、生徒の学力差の拡大は、非常に大きな問題として捉えており、しっかりイメージを膨らませながら、対応等の検討を進める必要がある。

新庄北高校は普通科高校であり、他校と比べ進学意識が比較的強く、地元企業との結びつきが少ないという歴史があったが、昨今探究的な学びによって自治体を含めた地元新庄市の関連企業に協力を得ながら地域に開かれた学校づくりが進んでおり、地元教育を意識した学びを、今後も継続できるように考えていきたい。

また、定時制の校舎移転は大きな変更であり、心配や不安の声が届いており、今後

議論しながら進めていきたい。

(委員)

新庄南高校は 107 年の歴史の中で、普通科・家政科・商業科の 6 クラスの時代から始まり、現在は普通科 2 クラス・総合ビジネス科 1 クラスの 3 クラスの規模となっている。大勢の競争の中で切磋琢磨し、伸びる生徒もいるが、比較的規模が小さい環境の中でも少人数で手厚く教えれば、驚くほど伸びる生徒もおり、そのような生徒が多く在籍するのが新庄南高校である。普通科と商業科が設置されている高校は県内でも珍しく、その中で、普通科と商業科から国公立大学に一般入試で合格する生徒や、地元へ貢献する割合の高い看護医療系に進学する生徒、公務員として地元に残る生徒など、多様な進路の中で生徒を育てている。

芸術にも力を入れており、カリキュラムには音楽・美術・書道の科目を設置するとともに、部活動では書道部・美術部が全国大会に出場し、その活躍を地域の人に披露することや、昨年度も新庄まつりが中止になった際のイベント企画、図書委員会を中心に長い間継続してきた新庄市の図書館での読み聞かせボランティアなど、地域と密接した教育活動を展開してきた。

新庄新高校（仮称）においても、これまでと同様に地域と連携した教育活動を継続するとともに、新しい学科に関しても、地域に関する学科の設置も考えられるのではないか。新南ブランドと言われてきた就職から進学までの幅広い進路実現を可能とし、地域に対して愛着心をもつ生徒を育成する学校づくりをしていきたい。

(委員)

時代のニーズを考へても単にモノづくりという時代ではないため、新庄神室産業高校は、商業科新設で 3 学科となることを一つの起爆剤と捉え、視点を広げステップアップする大きなチャンスと考へる。

新庄神室産業高校の今年度の定員充足は最上地区の中学生の生徒数の減少に大きく影響を受け、5 割台となった。また、最上地区に限ったことではないが普通科志向が相変わらず強いことも逆風になっていると感じる。その状況下においても、新庄神室産業高校は地域を担う人材づくりを頑張っているが、なかなか現状を打破できなくて悔しい思いをしている。中学校の進路指導の先生や保護者に、新庄神室産業高校の学校生活や学習の様子を知ってもらい、学校の価値と必要性を認めて応援してもらえるような学校づくりをしていきたい。

地元を担い地域をつくることへのやりがいを小学生や中学生の頃から芽生えさせる仕掛けづくりを行うとともに、産業界や行政の方々との関りを深めながら心のふるさと作りが可能なカリキュラムを編成し、学校の魅力アップを図っていきたい。専門学科での学びの魅力を発信し、より多くの中学生にとって選択肢となるような学校づくりをしていきたい。

(委員)

最上地区の中学校卒業生は、今後も減少が続くと思われる。この生徒数の減少は、最上地区だけでなく全国で直面する問題であり、山形大学も 2040 年には学生数が、今の 7 割になると見込まれている。最上地区が課題を先取りする形になり、課題への取り組みが先行事例となる。つまり、新しい高校は課題先進校となり、いかに活力を保ちながら未来を描き、地域でどのような役割を果たすかが問われる。

地元の要望や学校の思いもあるが、学校を担うのは生徒であることを第一に考へた

検討が必要だ。当事者である生徒が学校のカリキュラムのどこに満足し、さらに勉強したいことは何かなどの情報を、課題やポイントを考えるための材料として学校づくりを進めていきたい。

魅力は発信しないと伝わらない。情報を発信すると、発信した人に情報は集まる。このため、発信することによって多様な広がり生まれる。また、生徒自身の声や学校の魅力を、完成してから発信するより、作りながら新しい方向などを発信する方が、学校づくりにおいて効果的である。山形大学の学生もパンフレットはほとんどウェブサイト上で見ており、紙媒体のパンフレットを見ている学生は少ないため、中学生も同様に、ウェブサイト上の情報に対する感度が高い。ウェブサイト上での活動を通して、今あるものを丁寧に発信し、その都度、中学生や保護者の反応を踏まえながら学校の魅力をつくることが大事である。

7 連絡

(2) その他

(委員)

本委員会設置の前提となる最上地区の県立高校再編整備計画には、最上地区の3町にある分校に関する再編も含まれており、新庄市内では、本委員会で議論される高校が話題となるが、3町では、分校についての扱いが大きな話題となっている。

新庄北高校、新庄南高校、新庄神室産業高校の3校は、それぞれ最上町、金山町、真室川町に分校を持っており、町の首長や教育長と連携をしている。新庄市内の3校の再編整備と3分校は密接な関りがあるため、本校と分校はセットであるという観点が必要である。

新庄新高校（仮称）が新庄北高校の敷地・校舎を活用することから、新庄市では本来の対等合併ではなく、新庄南高校が新庄北高校に吸収されるという認識を持つ人もいる。また、3町では、分校の在り方について大変興味深く注視しているようだ。

定時制について

1 定時制設置校と入学の状況

学校名	学 科	時間帯	定員	H29	H30	H31	R2	R3	
新庄北	普通科	夜間	40	7	5	12	6	10	
霞城学園	普通科	I部(午前)	40	31	38	39	38	35	
		II部(午後)	40	35	35	25	41	21	
		III部(夜間)	40	9	8	5	7	9	
米沢工業※ ¹	工業科	夜間	40	3	12	17	11	10	
鶴岡工業※ ²	工業科	夜間	40	5	6	3	1	3	
酒田西※ ³	普通科	夜間→昼間	40	7	15	20	19	14	
合 計			280	97	119	121	123	102	
入学定員に対する充足率(全体)					34.6%	42.5%	43.2%	43.9%	36.4%
" (午前・午後・昼間)					82.5%	73.3%	70.0%	81.7%	58.3%
" (夜間)					15.5%	19.4%	23.1%	15.6%	20.0%

※1 米沢工業：令和5年度に総合学科へ学科改編、令和8年度に夜間から昼間に移行、米沢商業現有地に移転(独立校舎)

※2 鶴岡工業：令和4年度に募集停止(令和6年度末に閉課程)、庄内総合高校に昼間定時制総合学科を新設

※3 酒田西：平成30年度に夜間から昼間に移行

【県立高校再編整備基本計画】(平成26年11月策定)

◇ 夜間定時制については、状況が整った地区から昼間定時制への移行を検討します

2 現状と課題

- 定時制の設立当初と比較し、働きながら学ぶ生徒は減少しており、定時制に求められる役割(機能)も多様化している。
 - ・ 勤労学生の学びの場
 - ・ 学び直しや不登校経験者を支援する学びの場
 - ・ 社会的自立、社会への適応を支援する学びの場
 - ・ 幅広い年齢層の学びの場など
- 夜間定時制への入学者が少なく定員割れが大きい。令和3年度の県全体での入学定員に対する充足率は36.4%であるが、夜間定時制に限れば20.0%である。
- 夜間定時制の場合、通学に公共交通機関を利用しにくい、日中の企業等との連携やインターンシップなどの教育活動に取り組みにくいなどの課題がある。

3 定時制における教育活動の時間帯イメージ

時間帯	午前				午後				夜間				授業開始時刻
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
全日制	6時間授業												
定時制 (昼間)	4時間授業												霞城 (I部) 8:25 酒田西 (定) 9:15
		4時間授業											庄内総合 (定) 10:20 予定 米沢産業 (開始時間未定)
				4時間授業									霞城 (II部) 13:05
定時制 (夜間)									4時間授業				新庄北 (定) 17:25 霞城 (III部) 17:15 等

4 三修制について

定時制・通信制課程において、3年間で卒業を可能とする制度。平成元年4月に、従来「4年以上」であった修業年限が「3年以上」に弾力化され、履修上無理がなければ、全日制課程と同様、3年での卒業が認められることになった。

(1) 卒業に必要となる74単位の修得イメージ

年次	4年間で卒業する場合	3年間で卒業する場合 (比較)
1年	19単位 ^{※4}	25単位 (+6)
2年	19単位	25単位 (+6)
3年	19単位	24単位 (+5)
4年	17単位 ^{※5}	
計	74単位	74単位

※4 1日4時間授業 (4単位) × 週5日 = 20単位修得となるが、HRの1単位は除外となるため、1年間で、 $20 - 1 = 19$ 単位の修得が可能

※5 3年間で卒業する場合、4年間で卒業する場合と比較して、1年生から3年生までの間に17単位多く修得する必要がある

(17単位多く修得する例)

- 1日4時間授業の他に、2時間追加して授業を受けることにより単位を修得する
例えば、1日2時間 (2単位) × 週3日 = 6単位通常より多く単位習得できる
- 学校外の学修により単位を修得する

(定通併修 (他の定時制・通信制高校での単位修得)、技能審査 (英検、漢検など)
高等学校卒業程度認定試験、就労体験など)

(2) 米沢産業高校（仮称）定時制（昼間）の三修制導入について

<教育課程編成の基本方針>

- 卒業にかかる年数（修業年限）は4年を標準とします。また、1日の授業時間は4時間を基本としますが、それ以外に自由選択群の科目の設定や、学校外の学修等による単位認定により、3年でも卒業できる仕組みをつくります。一人ひとりのライフスタイルやニーズに応じた学習ができるようにします。
- 義務教育段階での学習内容の確実な定着を図る「学び直し」を充実させ、高校の学習のベースとなる基礎学力を養います。共通教科・科目の基礎・基本を大切にするとともに、発展的な内容を扱う科目や、工業・商業などの専門教科・科目を選択科目として開設し、多様な進路選択を可能にします。
- 地域をフィールドとした学びも取り入れ、伝統や文化の良さを生かした、地域資源や人材を活用する地域と協働した教育活動を展開し、地域やグローバルも含めた社会に積極的に寄与する態度を養います。

<教育活動のイメージ> 令和8年度に「夜間」から「昼間」の時間帯へ移行

時間帯	午前				午後				夜間			
時限	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
令和7年度まで									授業			
令和8年度から		学び直し	授業				自由選択群					

時 限：参考のために、全日制の時限を目安として12限まであるものと仮定して設定したもの
 学 び 直 し：朝のSHR後に「学び直し」を短い時間で実施することを想定
 自由選択群：希望者（主に三修制を活用し3年での卒業を希望する者）を対象とした選択制の授業を、1日最大2時間実施することを想定

米沢産業高校（仮称）教育基本計画（R3.3月策定）より

新庄新高校（仮称） 教育基本計画の構成（案）

全体の構成について

1 基本理念

- (1) 育てる生徒像
- (2) 目指す学校像
- (3) 教育目標

2 開校予定年度と入学定員等

- (1) 開校予定年度
- (2) 入学定員
- (3) 設置場所
- (4) 通学区域

3 教育課程

- (1) 教育課程編成・実施の基本方針
- (2) 教育内容の特色

4 移行期の対応

- (1) 開校に係る対応
- (2) 年次進行（イメージ）
- (3) 教育課程等の対応

5 施設整備計画

- (1) 基本的な考え方
- (2) 施設整備の概要
- (3) 施設整備スケジュール

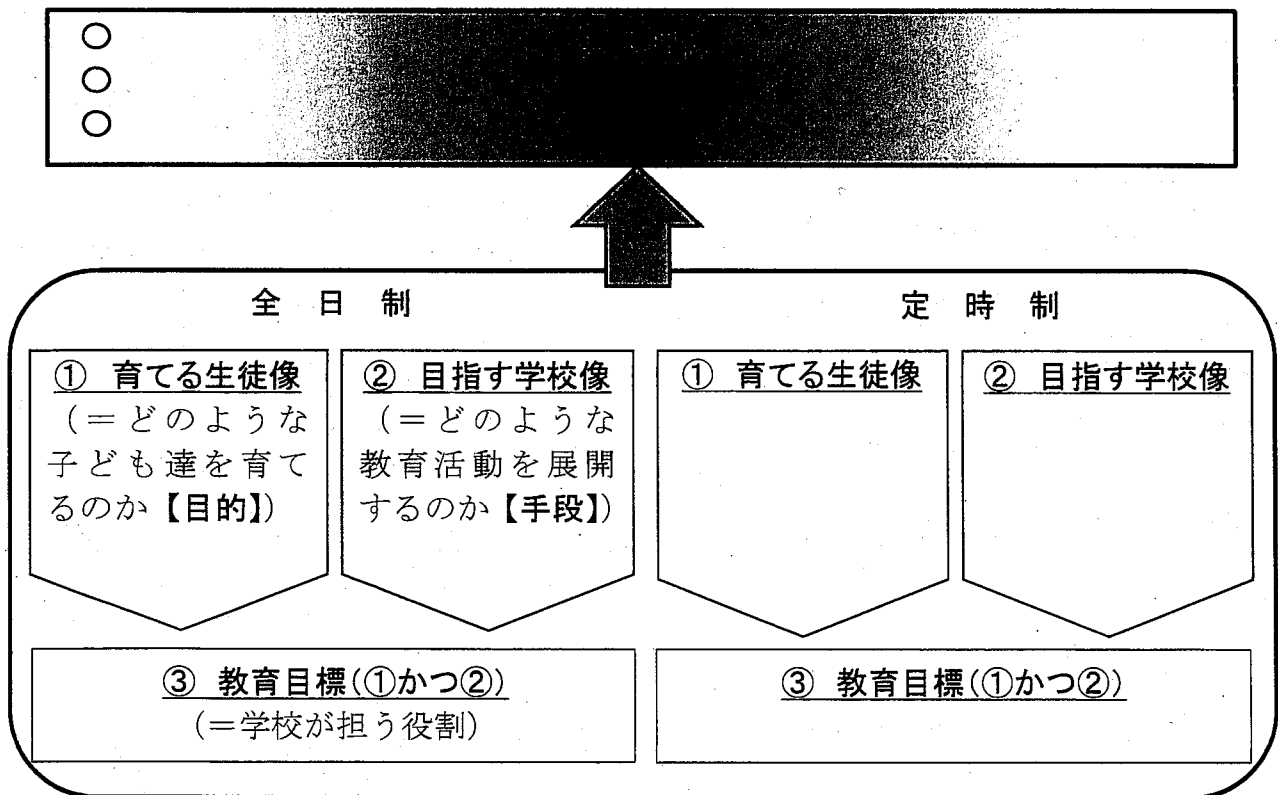
6 開校に向けた準備組織及びスケジュール

- (1) 開校までの準備組織
- (2) 開校に向けたスケジュール及び主な検討内容（予定）

1 検討方針

- (1) 「基本理念の骨格」は、母体となる新庄北高校及び新庄南高校の教育目標と、これからの時代の要請及び地域の役割及び期待等を表した言葉とする。
- (2) 「育てる生徒像」（目的）は、基本理念の骨格を踏まえた、学校が育成する資質・能力を表すものとする。
- (3) 「目指す学校像」（手段）は、「育てる生徒像」を実現するために、学校が展開する教育活動を表すものとする。
- (4) 「教育目標」は、「育てる生徒像」及び「目指す学校像」を集約し、学校が担う役割を表すものとする。
- (5) 「基本理念」は、「育てる生徒像」「目指す学校像」「教育目標」の本質（核）を表すものとする。
- (6) 「基本理念」については全日制、定時制ともに同一のものとする。ただし、「育てる生徒像」「目指す学校像」「教育目標」は、生徒の実態や教育内容の違いを鑑み別とする。
- (7) 作成にあたっては、一般的な言葉遣いや表現で端的に表すことを旨とする。

（参考）基本理念と育てる生徒像・目指す学校像・教育目標の構成（イメージ）



2 参考資料

- ・ 新庄北高校及び新庄南高校の教育目標等
- ・ 学校教育法（第六十三・六十四条 中等教育学校の目的及び目標）
- ・ 時代の進展や産業界の動向等に対応した本県産業教育の在り方について」～山形の未来を紡ぐ「夢」と「人」の「ネットワーク」づくり～（H21）県産教審
- ・ 社会の変化に対応した県立高校の将来の在り方について（H26）県立高校の将来の在り方検討委員会
- ・ 県立高校再編整備基本計画（H26）県教委
- ・ 高等学校学習指導要領（H30）文部科学省
- ・ 第3期教育振興基本計画について（答申）（H30）中教審
- ・ Society5.0に向けた人材育成～社会が変わる、学びが変わる～（H30）Society5.0に向けた人材育成に係る大臣懇談会
- ・ 最上地区の県立高校再編整備計画（第2次計画）（H31）
- ・ 「未来の教室」ビジョン（R1）経済産業省「未来の教室」とEdTech研究会第2次提言
- ・ 第6次山形県教育振興計画（後期計画）（R2）県教委
- ・ 庄内中高一貫校（仮称）教育基本計画（R2）
- ・ 新しい時代の高等学校教育の在り方ワーキンググループ（審議まとめ）～多様な生徒が社会とつながり、学ぶ意欲が育まれる魅力ある高等学校教育の実現に向けて～（R2）中教審分科会
- ・ これからの高等学校施設の在り方について～特色・魅力ある教育と生徒の多様な学びを支える環境づくりを目指して～（R3）学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議
- ・ 「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）（R3）中教審
- ・ 第5次新庄市総合計画（R3）新庄市総合政策課企画政策室
- ・ ポストコロナ期における新たな学びの在り方について（第十二次提言）（R3）教育再生実行会議

人間性の伸長

学際的な学び

実践的な地域探究

視点	基本理念の骨格	育てる生徒像の方向性 (全日制)	育てる生徒像の方向性 (定時制)
学びに向かう姿勢	<p>人間性の伸長</p> <p>《資質》 (新北高 教育目標・校是)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質実剛健 ・人間性を豊か ・思いやりの心 ・逞しい行動力 <p>(新南高 教育目標・校訓)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誠実 ・意欲的な人間 ・積極性・創造性に富む人間 <p>(第5次新庄市総合計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化の継承とふるさと意識の醸成 	<p>《豊かな人間性》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個性の尊重 ・自己肯定感・自己有用感 <p>《未来を切り拓く生徒》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統と文化の尊重 ・主体的な社会の形成の参加 ・<u>地域社会の発展へ貢献する態度</u> 	<p>《豊かな人間性》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個性の尊重 ・自己肯定感・自己有用感 <p>《社会に参画する生徒》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統と文化の尊重 ・主体的な社会形成の参加 ・<u>地域社会の担い手となる心</u>
学びの在り方	<p>学際的な学び</p> <p>《資質》 (新北高 教育目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知性を磨く ・旺盛な探究心・向上心 ・個性の伸長 <p>(新南高 教育目標・校訓)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな感性 ・進取 	<p>《確かな学力》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能 ・思考力・判断力・表現力 ・<u>アカデミックな知見の深化</u> <p>《新たな価値の創造》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現</u> ・<u>新たな見方・考え方</u> ・<u>挑戦心</u> 	<p>《確かな学力》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能 ・思考力・判断力・表現力 ・<u>職業観・勤労観の形成</u> <p>《自己実現》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>自己理解</u> ・<u>個性の伸長</u> ・<u>向上心</u>
学びの活かし方	<p>実践的な地域探究</p> <p>《資質》 (新北高 教育目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域への関心と視野を広める <p>(新南高 教育目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広い視野を持つ ・社会に貢献する人間 	<p>《地域社会での実践的な活動》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとの魅力の理解 ・体験と実践を伴った学び ・課題意識と貢献意識 <p>《広い視野から社会と関わる》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学ぶことと自己の将来とのつながりを見通す力 ・<u>グローバルな視点</u> ・<u>社会の発展に貢献する力</u> 	<p>《地域社会での実践的な活動》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとの魅力の理解 ・体験と実践を伴った学び ・課題意識と貢献意識 <p>《自ら社会と関わる》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学ぶことと自己の将来とのつながりを見通す力 ・<u>社会に貢献する意欲</u>

*下線部は、全日制と定時制で異なっている部分を表している。

＜人間性の伸長＞

①豊かな人間性を備え、未来を切り拓く生徒

- (ア) 個性を尊重し、多様な価値観を受容する柔軟な心と、自らの考えを持って遅しく行動するために必要な自己肯定感・自己有用感を育てます。
- (イ) 地域の伝統と文化を尊重するとともに、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を育てます。

＜学際的な学び＞

②社会を生き抜く基盤となる確かな学力を身につけ、新たな価値の創造に挑戦する生徒

- (ア) 基礎的・基本的な知識・技能を習得させ、思考力・判断力・表現力といった能力を育成するとともに、アカデミックな知見を深めることにより、高い志を育てます。
- (イ) 多様な人々と協働しながら、急激な社会的変化を乗り越え、多様性と包摂性のある持続可能な社会の創り手となる資質・能力を育てます。

＜実践的な地域探究＞

③地域社会での実践的な活動の中で、主体性を持って学び、広い視野から社会と関わることのできる生徒

- (ア) ふるさとの魅力に着目した体験と実践を伴った探究的な学びを通して、地域への課題意識や貢献意識を育てます。
- (イ) 多様な人々との関わりを通して自らの特性を理解することにより、自己の進路と真剣に向き合いながら、グローバルな視点を持って、社会の発展に貢献する力を育てます。

<人間性の伸長>**①豊かな人間性を備え、社会に参画する生徒**

(ア) 個性を尊重し、多様な価値観を受容する柔軟な心と、よりよい人間関係を築くために必要な自己肯定感・自己有用感を育てます。

(イ) 地域の伝統と文化を尊重するとともに、積極的に社会の形成に参画し、その担い手となる心を育てます。

<学際的な学び>**②社会を生き抜く基盤となる確かな学力を身につけ、社会での自己実現を目指す生徒**

(ア) 基礎的・基本的な知識・技能を習得させ、思考力・判断力・表現力といった能力を育成するとともに、社会的・職業的自立に向けて必要な資質・能力を育てます。

(イ) 多様な人々と協働しながら、急激な社会的変化を乗り越え、自己の個性を生かしながら、社会の担い手となる意識・意欲を育てます。

<実践的な地域探究>**③地域社会での実践的な活動の中で、地域とのつながりを実感し、自ら社会と関わることのできる生徒**

(ア) ふるさとの魅力に着目した体験と実践を伴った探究的な学びを通して、地域への課題意識や貢献意識を育てます。

(イ) 多様な人々との関わりを通して自らの特性を理解することにより、自己の進路と真剣に向き合いながら、積極的に社会に貢献する態度を育てます。

新庄新高校（仮称）全日制 目指す学校像の方向性（案）

視点	基本理念の骨格	育てる生徒像の方向性 (全日制)	目指す学校像の方向性 (全日制)
学びに向かう姿勢	<p>人間性の伸長</p> <p>《資質》 (新北高 教育目標・校訓)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質実剛健 ・人間性を豊か ・思いやりの心 ・逞しい行動力 <p>(新南高 教育目標・校訓)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誠実 ・意欲的な人間 ・積極性・創造性に富む人間 <p>(第5次新庄市総合計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化の継承とふるさと意識の醸成 	<p>《豊かな人間性》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個性の尊重 ・自己肯定感・自己有用感 <p>《未来を切り拓く生徒》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統と文化の尊重 ・主体的な社会の形成の参加 ・地域社会の発展へ貢献する態度 	<p>《豊かな心と郷土愛》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域への愛着と誇りを醸成する機会の充実 ・地域の伝統を継承し、新しい文化の創り手の育成 <p>《新しい時代に対応》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変化を前向きに受け止める逞しさの育成 ・困難を乗り越え、物事を成し遂げる力の育成
学びの在り方	<p>学際的な学び</p> <p>《資質》 (新北高 教育目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知性を磨く ・旺盛な探究心・向上心 ・個性の伸長 <p>(新南高 教育目標・校訓)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな感性 ・進取 	<p>《確かな学力》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能 ・思考力・判断力・表現力 ・アカデミックな知見の深化 <p>《新たな価値の創造》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現 ・新たな見方・考え方 ・挑戦心 	<p>《自己の実現》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力の育成 <p>《幅広い分野での学び》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科横断的な学習の充実 ・芸術的な感性の育成
学びの活かし方	<p>実践的な地域探究</p> <p>《資質》 (新北高 教育目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域への関心と視野を広める <p>(新南高 教育目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広い視野を持つ ・社会に貢献する人間 	<p>《地域社会での実践的な活動》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとの魅力の理解 ・体験と実践を伴った学び ・課題意識と貢献意識 <p>《広い視野から社会と関わる》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学ぶことと自己の将来とのつながりを見通す力 ・グローバルな視点 ・社会の発展に貢献する力 	<p>《地域と連携・協働》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域と連携したキャリア教育の充実 <p>《よりよい社会の実現》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用し、広い視野から地域を考える探究活動の推進 ・地域・社会を知る学びの推進

＜人間性の伸長＞

①新しい時代に対応し、豊かな心と郷土愛を育てる高校

- （ア）多様な他者や価値観に対応しながら、これからの社会を主体的に生き抜くことのできる人間性の形成を目指した教育を推進します。
- （イ）地域での協働を通して、地域への愛着と誇りを醸成する機会の充実を図り、伝統の上に新たな文化を築く、創り手を育成します。

＜学際的な学び＞

②自己の実現を目指し、幅広い分野での学びを展開する高校

- （ア）習得・活用・探究という学びの過程を重視しながら、急激に変化する社会に対応する資質・能力を実践的に育みます。
- （イ）芸術的な感性を取入れた、教科横断的な学びを通して、心を豊かにする生活や価値観を創り出す、創造力を育成します。

＜実践的な地域探究＞

③地域社会と連携・協働することにより、よりよい社会の実現を目指す高校

- （ア）地域での対話的な関わりの中で、自身の変容や成長を自己評価する機会を設け、個々のキャリア形成の充実を図ります。
- （イ）探究活動に ICT を活用し、他の学校や地域、海外との交流を積極的に進めることにより、広い視野から、地域社会が抱える課題の解決に向けた学びを推進します。

新庄新高校（仮称） 定時制 教育課程編成の基本方針（案）

- 卒業にかかる年数（修業年限）は4年を標準とします。また、1日の授業時間は4時間を基本としますが、それ以外に3年でも卒業できる三修制の仕組みをつくり、生徒一人ひとりのライフスタイルやニーズに応じた学習ができるようにします。
- 義務教育段階での学習内容の確実な定着を図る「学び直し」を充実させ、高等学校の学習の基礎・基本の確実な定着と学力の向上を図ります。
- 地域と連携する探究型学習を推進し、予測が困難な社会の変化に対して、主体性をもって柔軟に対応できる思考力・判断力・表現力を育成します。

新庄神室産業高校 教育基本計画の構成（案）

全体の構成について

1 基本理念

- (1) 育てる生徒像 (2) 目指す学校像 (3) 教育目標

2 商業科設置予定年度と入学定員等

- (1) 商業科設置予定年度 (2) 入学定員 (3) 設置場所 (4) 通学区域

3 学科の目標及び教育課程

- (1) 学科の目標 (①農業科 ②工業科 ③商業科)
(2) 教育課程 (①教育課程編成の基本方針 ②教育課程の特徴)

4 移行期の対応

- (1) 商業科設置に係る対応 (2) 年次進行（イメージ） (3) 教育課程等の対応

5 施設整備計画

- (1) 基本的な考え方 (2) 施設整備の概要 (3) 施設整備スケジュール

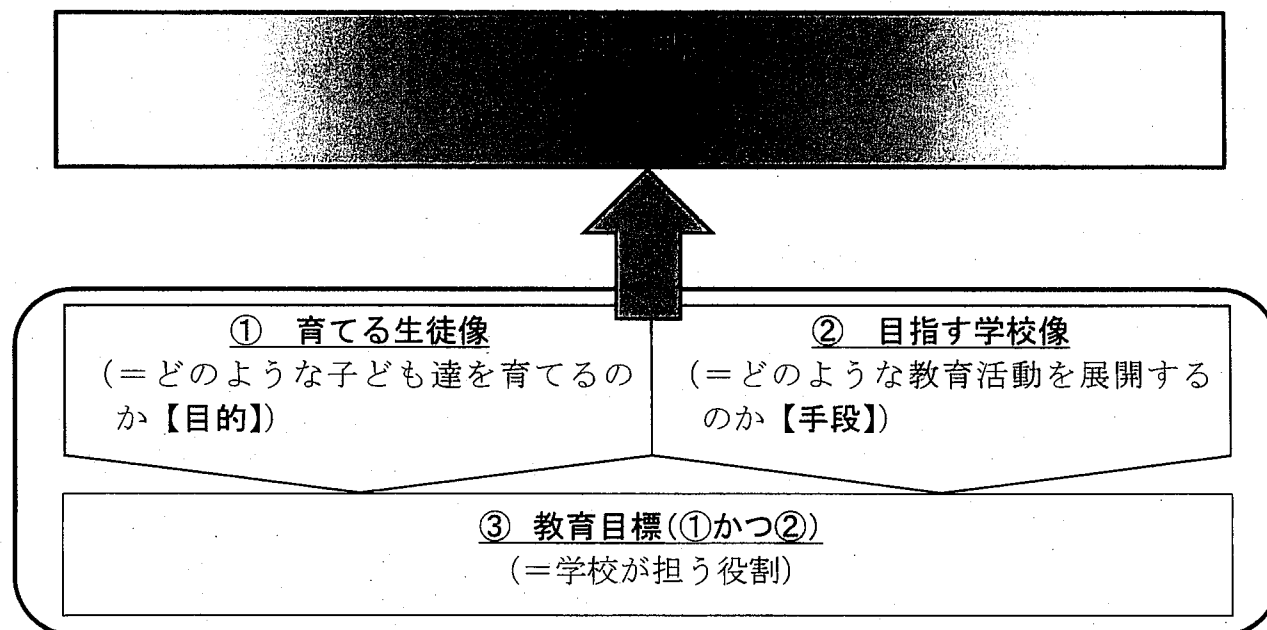
6 商業科設置に向けた準備組織及びスケジュール

- (1) 商業科設置までの準備組織
(2) 商業科設置に向けたスケジュール及び主な検討内容（予定）

1 検討方針

- (1) 基本理念の骨格は、現新庄神室産業高校の校訓とする。
- (2) 「育てる生徒像」（目的）は、基本理念の骨格とこれからの時代の要請及び地域の役割及び期待等を踏まえた、学校が育成する資質・能力を表すものとする。
- (3) 「目指す学校像」（手段）は、目的である「育てる生徒像」を実現するために、学校が展開する教育活動を表すものとする。
- (4) 「教育目標」は、「育てる生徒像」（目的）及び「目指す学校像」（手段）を集約し、学校が担う役割を表すものとする。
- (5) 「基本理念」は、「育てる生徒像」「目指す学校像」「教育目標」の本質（核）を表すものとする。
- (6) 作成にあたっては、一般的な言葉遣いや表現で端的に表すことを旨とする。

（参考）基本理念と育てる生徒像・目指す学校像・教育目標の構成（イメージ）



2 参考資料

- ・ 新庄神室産業高校の校訓等
- ・ 学校教育法（第六十三・六十四条 中等教育学校の目的及び目標）
- ・ 時代の進展や産業界の動向等に対応した本県産業教育の在り方について」～山形の未来を紡ぐ「夢」と「人」の「ネットワーク」づくり～（H21）県産教審
- ・ 社会の変化に対応した県立高校の将来の在り方について（H26）県立高校の将来の在り

方検討委員会

- ・ 県立高校再編整備基本計画（H26）県教委
- ・ 高等学校学習指導要領（H30）文部科学省
- ・ 第3期教育振興基本計画について（答申）（H30）中教審
- ・ Society5.0に向けた人材育成～社会が変わる、学びが変わる～（H30）Society5.0に向けた人材育成に係る大臣懇談会
- ・ 最上地区の県立高校再編整備計画（第2次計画）（H31）
- ・ 「未来の教室」ビジョン（R1）経済産業省「未来の教室」とEdTech研究会第2次提言
- ・ 第6次山形県教育振興計画（後期計画）（R2）県教委
- ・ 米沢産業高校（仮称）教育基本計画（R3）
- ・ 新しい時代の高等学校教育の在り方ワーキンググループ（審議まとめ）～多様な生徒が社会とつながり、学ぶ意欲が育まれる魅力ある高等学校教育の実現に向けて～（R2）中教審分科会
- ・ これからの高等学校施設の在り方について～特色・魅力ある教育と生徒の多様な学びを支える環境づくりを目指して～（R3）学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議
- ・ 「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）（R3）中教審
- ・ 第5次新庄市総合計画（R3）新庄市総合政策課企画政策室
- ・ ポストコロナ期における新たな学びの在り方について（第十二次提言）（R3）教育再生実行会議

新庄神室産業高校 基本理念の骨格及び

育てる生徒像の方向性（案）及び目指す学校像の方向性（案）

志高 創造 自立

基本理念の骨格	育てる生徒像の方向性	目指す学校像の方向性
<p style="text-align: center;">志 高</p> <p>《資質》 (令和の日本型教育)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高い目的意識 ・他者との協働 ・高い人間力 	<p>《高い志》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挑戦する心 ・継続する力 <p>《リーダーの資質》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様性を尊重する態度 ・互いの良さを生かして協働できる資質 	<p>《知的好奇心の高揚》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来への目的意識を高める課題解決型の学習の充実 ・地域社会における実体験の機会の充実 <p>《人間力の向上》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダー育成の推進
<p style="text-align: center;">創 造</p> <p>《資質》 (6教振（後期計画）)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柔軟な創造力 ・変化への対応力 ・社会貢献 ・多様な考え 	<p>《対応力》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変化を前向きに受け止める資質 ・柔軟性 ・的確な判断力 <p>《産業界を支える人材》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら考え、主体的に判断する力 ・多様な他者と協働しながら新たな価値を生み出す力 	<p>《思考力の向上》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな見方、考え方ができる思考力の育成 <p>《多様性、包摂性の促進》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会の創り手の育成 ・ICTを活用し、多様な学びができる機会の充実
<p style="text-align: center;">自 立</p> <p>《資質》 (令和の日本型教育)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的な取組み ・自己有用感 <p>(6教振（後期計画）)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人の資質を向上する ・卓越した専門性の追求 	<p>《学びの価値》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的な学び ・自己有用感 ・可能性の伸長 <p>《個人の資質の向上》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高い専門性 ・学び続ける姿勢 ・高い学習意欲 	<p>《キャリア教育の充実》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・探究的な学びの充実 ・生徒の可能性を引き出す、個性に応じた学びの提供 <p>《粘り強さの伸長》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲を高める効果的な産学官との連携

<志 高>

- ①夢と志をもって可能性に挑戦し、地域課題を発展的に解決に導くリーダーとして活躍する生徒
- (ア) 将来の目標を高く掲げ、その実現のため、継続的に努力できる力を育みます。
 - (イ) 地域社会での活動を通して課題を見だし、その解決に向けて協働的に取り組む力を育てます。

<創 造>

- ②未知の事象に柔軟かつ的確に対処し、未来の産業界を支える生徒
- (ア) 社会の変化を敏感にとらえ、主体的に課題の解決に取り組む力を育成します。
 - (イ) 幸福な社会の創造に向けて、産業界の発展に寄与する人材を育成します。

<自 立>

- ③自立した学習者として、自己の能力を高めながら、幅広く社会に貢献する生徒
- (ア) 主体的な学びを通して自己有用感を高めるとともに、個性を生かしながら、未来を切り開く力を育みます。
 - (イ) 専門性の高い知識の習得を目指し、自ら学び続ける生徒を育成します。

<志 高>

①知的好奇心を高める発展的な学習を充実するとともに、地域での体験活動を通して、人間力を高めることができる高校

（ア） 課題解決型の学習を充実させ、学習意欲と将来への目的意識を高める学びを推進します。

（イ） 地域社会における OJT や実体験を通して、他者との協働と対話の機会を充実させます。

<創 造>

②社会変化に対応するための思考力を育み、多様性、包摂性を有する持続可能な社会の創り手を育成する高校

（ア） それぞれの学科における専門性を高めるとともに、多分野と連携・協働する教育を通して、新たな見方、考え方に触れる機会の充実を図ります。

（イ） 多様な学びを実現するために ICT の活用を推進し、創造力の育成を図ります。

<自 立>

③個々の特徴に応じた学びとキャリア形成を推進することにより、目標に向かって、粘り強く考え抜く力を育む高校

（ア） 生徒の可能性を引き出す探究的な学びと、自らの成長を肯定的に認識し、将来を見通すことができるキャリア教育を推進します。

（イ） 産学官との連携を通して、学びの動機付けに向けた効果的な取組みを展開します。